



「吉野せい・吉野せい賞」に関する資料の探し方

平成23年1月 発行

手がかりとなるキーワード

吉野せい 三野混沌 (みの こんとん) 菊竹山 吉野せい賞

吉野せいは、明治32年(1899)、現在のいわき市小名浜の生まれです。大正10年(1921)、詩人・三野混沌と結婚し、好間の菊竹山で貧しく厳しい開墾生活に入ります。もともと文学へ関心があったせいは、夫の死後、交流のあった詩人・草野心平の勧めもあり執筆活動を開始します。

昭和50年(1975)、76歳のときに「渚をたらしした神」が第6回大宅壮一ノンフィクション賞と、第15回田村俊子賞を受賞します。昭和52年(1977)、78歳で永眠。昭和53年、いわき市は氏の文学業績を記念し「吉野せい賞」を創設しました。

1. 基本的な情報源で調べる (テーマの理解)

いわきの文学について、基本書を使って確認してみましょう。

『いわき市史 第6巻 文化』 (いわき市//発行) [K/210.1-1/1]

『写真で綴る いわきの風土と文学』 (はましん企画//発行) [K/910.2/7]

2. 図書

(1) 資料検索システムで調べる

書名・著者名・件名などにキーワードを入力して検索します。キーワードがあいまいな場合は、「～で始まる」(前方一致)、「～を含む」(中間一致)などの条件付けをうまく使いましょう。

(2) テーマごとの書架で探す

いわき資料コーナーでは、主に「910 日本文学」という分類の場所に置いてあります。

作家・吉野せいの文学に触れる

書名	内容	出版年	分類
『渚をたらしした神』 (吉野せい//著)	第6回大宅壮一ノンフィクション賞、第15回田村俊子賞受賞の吉野せい代表作。	1975	地域 914.6 3
『吉野せい作品集』 (吉野せい//著)	彌生書房発行の作品集。代表作『渚をたらしした神』をはじめ、『道』や『暮鳥と混沌』、単行本未収録作品を収録。巻末には「吉野せい略年譜」が掲載されている。	1994	地域 918 3
『土に書いた言葉』 (山下多恵子//編・解説)	吉野せいのアンソロジー集。「水石山」「梨花」「渚をたらしした神」など収録。	2009	地域 914.6 3

私は百姓女 ～ 吉野せい その人生を知る

『土と修羅 三野混沌と吉野せい』 (新藤 謙//著)	吉野せいと夫・三野混沌の壮絶な生きざま、また、彼らと親交のあった人々との交流について知ることができる。	1978	地域 910.2 3
----------------------------------	---	------	------------

『あるとき 第7号』	第7号は、吉野せい追悼特集。草柳大蔵をはじめ、真尾悦子、宮本輝、新藤兼人、他多数の追悼文が掲載されており、吉野せいの人となりを知ることができる。	1978	地域 910.5 7
『吉野せい文学アルバム』 (草野日出雄//編)	多くの写真とともに、吉野せいの生涯とその作品について紹介している。	1981	地域 910.2 3
『いわきの人物誌・上』	吉野せいについて、P120~123では簡潔にまとめている。	1992	地域 281 1
『吉野せい』	いわき市立草野心平記念文学館で開催した「吉野せい展 生誕百年記念-私は百姓女-」の図録。吉野せいの直筆原稿など、多数掲載されている。	1999	地域 910.2 3
『裸足の女 吉野せい』 (山下多恵子//著)	吉野せいの創作、自然、結婚、そして夫・三野混沌について、著者の取材をもとに書かれた吉野せい論。	2008	地域 910.2 3

「吉野せい賞」受賞作品を読むならこちら

『吉野せい賞作品集 吉野せい賞 20周年記念』	第1回(昭和53年度)から第18回(平成7年度)までの吉野せい賞受賞作品をまとめたもの。	1997	地域 913.6 3
『吉野せい賞作品集 吉野せい賞 30周年記念』	第20回(平成9年度)から第29回(平成18年度)までの吉野せい賞受賞作品をまとめたもの。	2007	地域 913.6 3
『6号線』	いわきの文芸誌。昭和50年(1975)創刊。第8号に、第1回吉野せい賞受賞作品「緑の壁」が収録。昭和62年(1987)の最終号・第24号まで吉野せい賞、奨励賞などが収録されている。		地域 910.5 0
『うえいぶ』	いわきの総合文化誌。昭和63年(1988)創刊。第4号より吉野せい賞、準賞、奨励賞、選考結果などの掲載を行っている。		地域 051 9
『文藝いわき 第6号』	第6号は「吉野せい文学賞作品特集号」。第27回(平成16年度)の受賞作が掲載されている。	2005	地域 910.5 7

3. 新聞

○『いわき民報』(いわき民報社)

昭和45年11月16日~昭和47年11月6日まで、断続的に「菊竹山記」を掲載。「菊竹山記」の多くは書き改められて、『湧をたらしめた神』、『道』に収録されています。

4. インターネットで情報収集

○いわき市公式ホームページ <http://www.city.iwaki.fukushima.jp/>

[TOP→くらしの情報→生涯学習・文化・スポーツ→歴史・文化→吉野せい賞の概要]

- ・過去の受賞作品一覧などが掲載。

吉野せい賞の募集期間は、毎年4月から8月まで。募集に関する詳細は、いわき市公式ホームページや「広報いわき」をご覧ください。いわき市教育委員会事務局 文化課 (22-7544) までお問い合わせください。

○GeNii[ジーニイ](NII 学術コンテンツ・ポータル) <http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>

- ・吉野せいに関する学術論文や、関連する図書などが検索できます。